

『医薬品暗記帳 医薬品登録販売者試験絶対合格! 「試験問題作成に関する手引き 第3章」徹底攻略 第1版』の変更箇所について

令和5年4月に行われた手引き改訂による変更箇所や、2022年度の試験を踏まえて頻出度が変更された成分、巻末付録の頻出成分ランキングの最新版についてご案内します。

[1] 手引き改訂による変更箇所

ページ	位置	旧	新
viii	中央の「出題範囲」の部分	厚生労働省が定める「試験問題作成に関する手引き(令和4年3月)」から出題されます。 手引きは例年1~2年に1回改正されますが、令和4年の改正は平成30年以来です。大きく変更となった箇所もありますので、過去問を解く際には注意してください。改正内容につきましては、上記の厚生労働省のページの「平成30年3月版からの改正履歴入り」で確認することができます。	厚生労働省が定める「試験問題作成に関する手引き(令和5年4月)」から出題されます。 手引きは適宜、最新情報へと更新されますが、最近では大きな修正が令和4年3月に、小さな修正が令和5年4月にあったため、過去問を解く際には注意してください。 なお、手引きの更新による修正箇所については、上記の厚生労働省のページの「(参考)令和4年3月版からの修正履歴入り」で確認することができます。
39	中央の「麻薬性鎮咳成分の注意点」の部分	コデインとジヒドロコデイン(鎮咳去痰薬に限る)は、濫用などのおそれのある医薬品として指定されています。	コデインとジヒドロコデインは、濫用などのおそれのある医薬品として指定されています。
43	メチルエフェドリン塩酸塩の「ポイント」の部分	メチルエフェドリン(鎮咳去痰薬のうち、内用液剤に限る。)は、濫用などのおそれのあるものとして指定されている	メチルエフェドリンは、濫用などのおそれのあるものとして指定されている
132	下方の「1点UPのアドバイス」	①プロモバレリル尿素 ②コデイン(鎮咳去痰薬)、ジヒドロコデイン(鎮咳去痰薬) ③エフェドリン、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリン(鎮咳去痰薬の内用液剤)	①プロモバレリル尿素 ②コデイン、ジヒドロコデイン ③エフェドリン、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリン ※濫用などの恐れのある医薬品は、以前は成分の指定と共に、「鎮咳去痰薬のうち、内用液剤に限る」などと薬効群や剤形が限定されていたが、2023年4月1日より改正告示が適用され、これらの 限定部分が削除 された。これに伴い、令和5年4月に手引きの内容も変更されている
237	No.30 ポレイの「科名」	イボタガキ科	イタボガキ科

[2] 頻出度が変更された成分一覧

最新の試験問題(2020年～2022年の3年間で行われた試験)で集計し直した結果、頻出度に変更があったものについて記載しています。

1. 第3章の頻出度

西洋薬

ページ	成分名	頻出度
41	ノスカピン、ノスカピン塩酸塩水和物	★★
48	ブロムヘキシシン塩酸塩	★
58	アルジオキサ	★
69	次没食子酸ビスマス、次硝酸ビスマス	★★
71	ベルベリン塩化物、タンニン酸ベルベリン	★
79	センノシド、センノシドカルシウム	★
81	酸化マグネシウム	★
88	ジサイクロミン塩酸塩	★
89	ロートエキス	★★★
95	ソルビトール	★
110	ルチン	★★
132	フェニレフリン塩酸塩	★
144	スルファメキサゾール、スルファメキサゾールナトリウム	★★
145	アスパラギン酸カリウム、アスパラギン酸マグネシウム	★
149	オキシドール	★★
156	イソプロピルメチルフェノール	★
163	ヒドロコルチゾン酢酸エステル	★
166	ケトプロフェン	★★
187	カルプロニウム塩化物	★
201	ナイアシン(ニコチン酸アミド、ニコチン酸)	★
203	アミノエチルスルホン酸(タウリン)	★★★
204	コンドロイチン硫酸ナトリウム	★★
204	ヘスペリジン	★★
208	クレゾール石鹼液	★★
210	サラシ粉	★
213	ジクロールボス、ダイアジノン ほか	★★★
213	ペルメトリン、フェントリン、フタルスリン	★★★

生薬

ページ	成分名	頻出度
237	オウバク	!
241	ダイオウ	!!
244	リュウノウ	!!!
244	コウカ	!!!
246	ウワウルシ	!
247	ブクリョウ	!!!
254	サイコ	!

漢方薬

ページ数	成分名	頻出度
268	麻黄湯	!!!
272	香蘇散	!!
282	抑肝散	!!
283	柴胡加竜骨牡蛎湯	!!
297	安中散	!!!
300	六君子湯	!!!
304	麻子仁丸	!
307	苓桂朮甘湯	!!
308	三黄瀉心湯	!
318	桂枝茯苓丸	!!
319	五積散	!!!
320	柴胡桂枝乾姜湯	!
323	当帰芍薬散	!!
331	十全大補湯	!
333	黄連解毒湯	!!

2. 第5章の頻出度

ページ	成分名	頻出度
40	ジヒドロコデインリン酸塩	★★
43	メチルエフェドリン塩酸塩、メチルエフェドリンサッカリン塩	★
70	タンニン酸アルブミン	★★★
70	ロペラミド塩酸塩	★★
79	センノシド	★★★
89	ロートエキス	★★★
125	ジフェンヒドラミン塩酸塩、ジフェンヒドラミン	★★★
165	インドメタシン	★
167	フェルピナク	★

[3] 付録 頻出成分ランキング (344 ページ) 【最新版】

2020～2022 年に行われた全ブロックの登録販売者試験(出題内容が同一のものを除外して、全 26 試験について)をもとに作成しています。

1. 第3章

西洋薬ベスト 15

順位	成分名	登場回数
1位	カフェイン(28)	57回
2位	ニコチン(禁煙補助剤)(194)	42
3位	グリチルリチン酸二カリウム(8)	39
4位	メチルエフェドリン塩酸塩(43)	38
5位	クロルフェニラミンマレイン酸塩(124)	30
6位	ビタミンE(198)	29
7位	アスピリン(16)	27
8位	アセトアミノフェン(19)、ビタミンB2(199)	26
9位	ビタミンB6(199)	25
10位	トラネキサム酸(8)	24
11位	ジフェンヒドラミン塩酸塩(125)、ビタミンB1(198)	23
12位	プソイドエフェドリン塩酸塩(131)	22
13位	エテンザミド(17)、ジヒドロコデインリン酸塩(40)、ヨウ素系殺菌消毒成分【口腔咽喉薬】(154)、ビタミンC(201)、	21
14位	ビタミンB6(199)、アミノエチルスルホン酸(タウリン)(203)	20
15位	エタノール(155)、ビタミンB12(200)、次亜塩素酸ナトリウム(209)、ピレスロイド系殺虫成分(213)	19

生薬ベスト 10

順位	生薬名	登場回数
1位	センソ(243)	25回
2位	カンゾウ(233)	24
3位	ヒマシ油(77)	22
4位	ゴオウ(243)	17
5位	ジャコウ(243)	14
6位	オウレン(237)、ロクジョウ(243)、リュウノウ(244)	13
7位	マオウ(233)	12
8位	センブリ(237)、コウカ(244)、ブクリョウ(247)	11
9位	カッコン(254)	10
10位	ユウタン(238)、ダイオウ(241)、ブシ(254)	9

漢方薬ベスト10

順位	漢方名	登場回数
1位	葛根湯(267)	16回
2位	防風通聖散(335)	14
3位	小青竜湯(269)	13
4位	麦門冬湯(289)、防己黄耆湯(334)、大柴胡湯(336)	12
5位	麻黄湯(268)、安中散(297)、六君子湯(300)、五積散(319)	11
6位	小柴胡湯(270)、抑肝散(282)、小建中湯(285)、半夏厚朴湯(287)、桂枝加芍薬湯(301)、加味逍遙散(317)、桂枝茯苓丸(318)、当帰芍薬散(323)、黄連解毒湯(333)	10
7位	香蘇散(272)、芍薬甘草湯(273)、柴胡加竜骨牡蛎湯(283)、苓桂朮甘湯(307)、桃核承気湯(322)	9
8位	疎経活血湯(276)、人参湯(298)、三黄瀉心湯(308)、猪苓湯(313)、柴胡桂枝乾姜湯(320)	8
9位	酸棗仁湯(280)、大黃甘草湯(302)、麻子仁丸(304)、竜胆瀉肝湯(314)、茵陳蒿湯(324)、十全大補湯(331)	7
10位	釣藤散(278)、平胃散(299)、大黃牡丹皮湯(303)、乙字湯(305)、七物降下湯(309)、牛車腎気丸(312)、四物湯(321)、十味敗毒湯(325)、補中益気湯(332)、清上防風湯(337)	6

2. 第5章

全成分ベスト10

順位	成分名	登場回数
1位	プソイドエフェドリン塩酸塩(131)	28回
2位	イブプロフェン(19)	24
3位	スクラルファート(59)	21
4位	カフェイン(28)、ジフェンヒドラミン塩酸塩(125)	20
5位	アスピリン(16)、アセトアミノフェン(19)、タンニン酸アルブミン(70)、ロートエキス(89)	17
6位	センノシド(79)、芍薬甘草湯(273)	16
7位	ジヒドロコデインリン酸塩(40)、ロペラミド塩酸塩(70)	15
8位	小柴胡湯(270)	13
9位	スコポラミン臭化水素酸塩水和物(34)、ジプロフィリン(45)、テオフィリン(46)	12
10位	アミノ安息香酸エチル(90)	11